

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 ビリングシステム株式会社
 コード番号 3623 URL <http://www.billingsystem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 江田 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理本部長 (氏名) 住原 智彦

TEL 03-5501-4400

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	719	8.3	43	△41.8	43	△39.4	36	105.1
25年12月期第2四半期	665	△5.3	74	57.2	71	49.8	17	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 33百万円 (65.2%) 25年12月期第2四半期 20百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	23.63	23.13
25年12月期第2四半期	11.89	—

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	5,829	1,553	25.9
25年12月期	6,179	1,531	24.1

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 1,511百万円 25年12月期 1,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	7.50	7.50
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成25年12月期の期末配当については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,404	5.9	63	△41.8	62	△43.3	50	37.3	32.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	1,598,800 株	25年12月期	1,598,800 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	47,500 株	25年12月期	47,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	1,551,300 株	25年12月期2Q	1,502,800 株

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財務状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで記載する予定です。

- ・平成26年8月28日（木）・・・機関投資家向け決算説明会
- ・平成26年9月26日（金）・・・個人投資家向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和策を背景とした企業収益の改善、また消費税増税前の駆け込み需要による個人消費の増加などにより緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、駆け込み需要の反動や、円安の影響による物価の上昇、海外景気の下振れリスクなど、依然として先行きが不透明な状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループは、既存顧客へのサービスの深堀と新規顧客獲得のため、積極的な営業を展開してまいりました。

また、昨年度より新規事業として取り組んでおりますモバイル決済サービスにつきましては、当社の資本・業務提携先であるMPayMe Limited（香港、CEO：アレッサンドロ・ガドッティ）がPowa Technologies Group PLC（ロンドン、CEO：ダン・ワグナー）と合併することになりました。当社がMPayMe Limitedと締結しておりました業務提携契約は存続会社であるPowa Technologies PLCに引継がれることとなります。

当社はモバイル決済サービスの基盤確立に向けた各種準備を進め、既に本番稼働も開始しておりますが、今後はPOS事業との連携も含めた包括的な決済ソリューションサービスの基盤整備を進めてまいります。

業績全般につきましては、為替の急激な変動が一段落したため、クイック入金サービスの取引件数が減少いたしました。一方、収納代行サービスにおいて前年度から取引を開始しております新規顧客に対する売上高が、当初の見込みを上回り推移いたしました。この結果、売上高は概ね予算どおりの結果となりました。

利益面は、販売費及び一般管理費を抑制して運用したことに加え、新規事業に対するシステム投資や人員増強に係る採用コスト等の先行投資が遅れていることもあり、費用の支出が当初の見込みを下回りました。このため、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに予算を大きく上回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高719,996千円（前年同四半期売上高665,059千円）、営業利益43,563千円（前年同四半期営業利益74,852千円）、経常利益43,201千円（前年同四半期経常利益71,340千円）、四半期純利益36,654千円（前年同四半期純利益17,869千円）となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5,829,994千円（前連結会計年度末6,179,730千円）となり349,736千円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少272,490千円などによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は4,276,199千円（前連結会計年度末4,647,920千円）となり371,720千円減少いたしました。その主な要因は、預り金の減少315,904千円などによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,553,794千円（前連結会計年度末1,531,810千円）となり21,984千円増加いたしました。その主な要因は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加36,654千円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少11,634千円、その他有価証券評価差額金の減少4,957千円などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前第2四半期連結会計期間末と比較して1,232,255千円増加し、残高は5,303,986千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は232,752千円（前第2四半期連結累計期間は6,743千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益43,201千円、売上債権の増減額39,369千円等の資金増加要因を、預り金の増減額315,904千円等の資金減少要因が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は97,453千円（前第2四半期連結累計期間は86,823千円の収入）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入100,000千円等の資金増加要因が、有形固定資産の取得による支出2,906千円等の資金減少要因を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は37,190千円（前第2四半期連結累計期間は125,840千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出25,800千円、配当金の支払額11,634千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向等を踏まえ、平成26年2月13日に公表しました平成26年12月期（平成26年1月1日～平成26年12月31日）の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成26年8月11日に公表いたしました「平成26年12月期第2四半期累計期間及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,576,476	5,303,986
売掛金(純額)	137,041	98,192
仕掛品	3,008	1,660
その他	147,072	134,800
流動資産合計	5,863,599	5,538,639
固定資産		
有形固定資産	12,005	12,890
無形固定資産		
のれん	4,492	2,246
その他	36,945	31,946
無形固定資産合計	41,438	34,192
投資その他の資産	262,687	244,271
固定資産合計	316,131	291,354
資産合計	6,179,730	5,829,994
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,338	40,393
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	51,600	49,800
未払法人税等	6,920	7,905
預り金	4,330,665	4,014,761
賞与引当金	—	2,579
その他	28,628	20,046
流動負債合計	4,580,153	4,235,486
固定負債		
長期借入金	61,500	37,500
資産除去債務	3,061	3,085
その他	3,205	128
固定負債合計	67,766	40,713
負債合計	4,647,920	4,276,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,788	1,198,788
資本準備金	44,700	44,700
利益剰余金	290,249	315,268
自己株式	△48,720	△48,720
株主資本合計	1,485,017	1,510,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,025	1,068
その他の包括利益累計額合計	6,025	1,068
少数株主持分	40,767	42,689
純資産合計	1,531,810	1,553,794
負債純資産合計	6,179,730	5,829,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	665,059	719,996
売上原価	417,201	508,929
売上総利益	247,857	211,067
販売費及び一般管理費	173,004	167,503
営業利益	74,852	43,563
営業外収益		
受取利息	1,098	627
その他	278	393
営業外収益合計	1,376	1,020
営業外費用		
支払利息	1,438	1,383
支払手数料	3,450	—
その他	0	0
営業外費用合計	4,888	1,383
経常利益	71,340	43,201
特別損失		
投資有価証券評価損	50,000	—
特別損失合計	50,000	—
税金等調整前四半期純利益	21,340	43,201
法人税、住民税及び事業税	4,878	5,839
法人税等調整額	△3,893	△1,214
法人税等合計	984	4,625
少数株主損益調整前四半期純利益	20,355	38,576
少数株主利益	2,486	1,921
四半期純利益	17,869	36,654

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,355	38,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△4,957
その他の包括利益合計	—	△4,957
四半期包括利益	20,355	33,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,869	31,697
少数株主に係る四半期包括利益	2,486	1,921

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	21,340	43,201
減価償却費	7,284	7,341
のれん償却額	2,246	2,246
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△172,005	△520
受取利息	△1,256	△752
支払利息	1,438	1,383
投資有価証券評価損益 (△は益)	50,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	6,745	39,369
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,831	1,347
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,510	△21,945
未払金の増減額 (△は減少)	△16,345	△3,955
預り金の増減額 (△は減少)	△210,458	△315,904
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,345	2,579
その他	327,352	19,219
小計	11,347	△226,388
利息及び配当金の受取額	925	758
利息の支払額	△1,307	△1,359
法人税等の支払額	△4,221	△5,763
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,743	△232,752
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	200,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△4,111	△2,906
無形固定資産の取得による支出	△9,694	—
敷金の差入による支出	—	△300
関係会社貸付金の回収による収入	330	360
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	300	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	86,823	97,453
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△25,800	△25,800
配当金の支払額	—	△11,634
その他	△40	243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125,840	△37,190
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△32,272	△172,490
現金及び現金同等物の期首残高	4,104,003	5,476,476
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,071,730	5,303,986

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

「決済支援事業」以外の事業の重要性が乏しいため、記載を省略しております。